

新型コロナウイルスは神様だった！？ アフターコロナの新世界を生きるために必要な心構えとは マス・メディアには載らない本当の情報がここにある！

『ザ・フナイ』vol.154

(連載者) 船井勝仁、副島隆彦、ベンジャミン・フルフォード、船瀬俊介、飛鳥昭雄、増田悦佐、大村大次郎他
(価格) 1500円＋税 (発売日) 2020年7月3日 (発行) 船井本社 (発売) ビジネス社

株式会社ビジネス社(東京都新宿区 代表取締役: 唐津隆)は、『ザ・フナイ vol. 154』を
2020年7月3日に発売いたしました。ぜひ、貴メディアにてご紹介いただけますと幸いです。

◆ 日本の神様の力を借りる 感謝、直感、絆でつながるコロナ後の生き方

神道は体系がないために、また、国家神道のイメージが強いために、私たち日本人と深い結びつきがあるにもかかわらず身近に感じていない方が多いようです。

「キリスト教が“愛”だとしたら、神道は“喜び”である」「神道の目指すところは、繁栄や調和、自由、笑いだ」「そのための道筋が、感謝、直感、縁である」

そんな神道を説いておられる道幸龍現氏は、新型コロナウイルスも一種の神であったと捉えています。コロナ禍はなんのために起きたのか、そしてアフターコロナをどう生きていけば良いのかが語られた、これからに必読の巻頭対談です。

その他、豪華執筆陣による、まだ広く知られていない諸分野の先駆け情報を、様々な視点からお届けします！



【本書の構成】

特集: ◆日本の神様の力を借りる 感謝、直感、絆でつながるコロナ後の生き方

道幸龍現(神道家) & 船井勝仁(主幹)

「アフターコロナをコンサルティング! 神道の力で甦る世界」

連載: 副島隆彦(評論家、副島国家戦略研究所<SNSI>主宰)「誰も書かない世の中の裏側」/ベンジャミン・フルフォード(フリージャーナリスト)「新しい時代への突入」/船瀬俊介(地球環境評論家)「マスコミのタブー200 連発」/飛鳥昭雄(サイエンスエンターテイナー)「情報最前線—未来への指針」/安西正鷹(『みち』論説委員)「お金の謎に迫る」/洪澤健(コモンズ投信株式会社社長)「変化を捉える価値視点」/金原博昭(オリオン形而上学研究所代表)「エジプトの謎 第一のトンネル」/増田悦佐(経済アナリスト・文明評論家)「主義の没落と“もどき”の興隆」/松本紹圭(一般社団法人未来の住職塾塾長)「Post-Religion: 宗教を超えてつながる世界へ」/大村大次郎(元国税調査官)「明智光秀の知られざる素顔」/ほか多数!

【お問い合わせ先】

株式会社ビジネス社 広報担当: 松矢 千 162-0805 東京都新宿区矢来町114番地 神楽坂高橋ビル5F

E-mail: matsuyapress@gmail.com 携帯: 09072611982 TEL03-5227-1602 / FAX 03-52271603

著者への取材、企画ご協力、読者プレゼントご対応も承ります。